857
89
取扱注意 帙入

国立国会図書館　タイトル『宝物集 3巻』 請求記号 857-89
ガラス使用

857-89

山崎文庫

寶物集 下

第三に戒とたもちて佛になるべしとは、妙果の樂に戒の
樂に入ねばなり。八万四千の惡業煩惱の軍をせいとおもて
せめうちうちとりこめども、まけうちとられぬ。戒とたもつ
人は淨土人天の師とうとまれぬ。梵網經に
ものの心ぐるしくうちの師とうんじ、ぞくしやうの
戒をたもつ者は、ろくしやうの師とうんじ、ぞくしやうの
人は、ぜんぜんとりこめひとをもて、ぜんぜんとして
戒とうけ、ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ
の菩薩圍繞をいつるとぞ。ひとをもて、ぜんぜんとうけ
ひとをもて、ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ
戒とうけ、ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ
てぞ。ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ
長老の中の大戒とぞ。ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ
ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ、ぜんぜんとうけ

国立国会図書館　タイトル『宝物集 3巻』 請求記号 857-89

ガラス使用

よふ教生とうへ物の命ところ
の業といふ分づくるあろさねぬ
くならびくんぬとしてもあろと海ぐさなるとさまいわ飛の
はく丘里よおてた合ろもうよ。おろ玉地の都よ行ろ。玉つ
くろうろへうひまふ。鶴といふ。ろくるさらて。玉代のこね玉の
くろとおくばくそろろねとこ。海ぐとてうろせてしまも。教
生飛と魚ふらしとて。ろうくさまいぐらまんといふくう
ちせてしろふかはらねきてその名の能よあろうて死ぐろ
とんてぐろうのうしねふとくはぐろいろうまぐさ
くろふずでよ前くぐをねくふひろ時ぐはい
ろうのろくを開てんてよ玉あるぐしといへで服とわけてみろよ。
ろくろとろうぐ玉なは。いあろろ時玉はてろの僧
よひろひふのそひすしろ花なくてゆかたせあ代うけ結
ぐくいへどうし教生飛とたてろゆへいぐろうちとひろれ
ハ。ま財玉地礼海茶敬して服ろ僧とせあろうと物ろ

かーみろひ第天台ようれなる巡ひ国まで海ひた
仏ろさ羅漢ど黄しゆ像せひそひへのわろ基とう
ちのふ羅漢まいまろとアクろれは国玉基とゆべきれわを
出ばろるべしとのふと羅漢ときまて作ろるとぬて
則ろびとろまはその段ぬ玉基とろとてすひてら
んと見て話しおひろ時ひろ行ろろ
ぬとりせはまんうれるすとのぬ
かとろびん佛の作まへよまいろ海とり法ひろれ
佛まぬろのろく。玉ぬ出ろうて四ろ中ふまいしきえ
みらんハ農まりてわろさ四とはろまるぐふ縁とふ
ものふとぬろうび性ろろひとろまろとは農まろのめ
ぐも甲裏ぬくして魚ろぬされどい海ろ業とはろひあ
よぬなるどころろくなろとのまてろおやまろえくれとし。
いろんやんとしておろさじ部とろやろ生死ろ法佛の利益
よりまてて。ハ経よろんろ。しひ不殺生戒とたなさ

ざうしゆんなりとて仏にとれなまうをくしの命
とをつかうまつるなり
二は不偷盗とは草一すじら汁一ゆもまつらせば
てくらべうずいとひやそのかうの物とおひ〜橋梵波提子
ぢくみみ道のやとらみとらるる菓ととらそうしゆへよ
人百生のうるうしつくらとうのうみさまれの仏の物とあと
こうのいまこと世こふかうなるものよ生るまとこれうおさ
まとて淡い針ととて人盗とそうのうの今生後生ふの
さ海〜こ事なりうさまいうここ人絶つあうこふ物もう
よりとてとうずこんぬれとそひ物などとゆめくうべうずう
の鰯の鰍といふまわひ一ぬこうの物とんてかうふこわ
りふこうこ人のうこうまとゆてかうこ物ふこ物のうれうこ
てかうこうこりふ宮ふ京よわの味とまうてかうこ物ひよ
ぬいうよりうこうのふ悪ふ者とうてかうこふかいんふ物
とあんじてまひわうこかうこりふ悪みふ物四の業のよ

くくはうこうこそ生死とこうまとふ
第三は不邪婬とは書あうこの紙とかうとにはひよまこ女
と書よすべうこひとくはうめうまとこ人とこ
ゆうこわうこうこ不婬こそ仏のとこ人間とこ魔べう
らひ女人の煩悩のみかうこまとてこ人のうこうまとうるれ
よこうこひて六欲よ猫四とと毒地とかうこうこ女人とかうこ
べうこひとうこわひうの人〜こ物のうこ絵よいとくこさ
ひ女人とうんまとこ三悪道とこうこまとうこ人遠の業とひ
とぬいうふいうんやこうこひうこぬまの人とこうこ
いうこひこ人のうこうんのうこうとゆこさうふ女の枝ようこうこ
ふとうんてこうこひとこ知りうふ弟子あやこゆへとひ生
此ようこうんのいとくわまこ人間世のうこうこうこうこうこみてわうこ時人
のうことうこうここうこうこうこりこ時とれ仏道後世のうこあうふ物と
いそんとこけまこはとれとこいふこふこうこうこ
てまこよこうこうこなこうこうこひこうふこのこひ生ひ

とくまちぬ。そのゆへよりはなれ乃ぬしなくて又ハ百生乃ゐ
ん乃ゑ乃輪廻してひそびてゐるゝ。羅漢乃果とゆゝれひ
しゐ乃ゆへハ今ハ輪廻とゝゐるしなり。則ひらすゆりとそのさ
まひろゐされど嬉欲ハ中ハ一佛道乃さゆ乃ゑ
女人地獄使絶断仏種子外面似菩薩内心如夜叉とのべすてゝ
ハ女ハいちゞゝのけうひうてゝくゝ仏乃ゝゆとそれゆてハやさ
つよ似ゝうとゝゝゝ鬼乃ゝゝとゝれのゝ阿部金
乃きゐれハ母ゝ子乃鳴那羅太子とゆひけ行ひゐれた世
のわゝゝゐとゆりひてけゐゆ入ゆいゝれた女眼とゝてゝ行
へつゝ。ゝゐのゝゝゝ

と乱ひるのべき道ぼうに不妄語戒とうしいそうどとべうひとは
しめるの法の義地方とうの法命とそのとうそうこと
とは心のめうりうの毒は地獄とて飛人よりして獄卒とい
うく高流のゆいの大海とも尽くでまてきう方とやうんうの業
のうさう毒殺とは人とはをたうひうこと地ごくのあさぐの則妄
語なら仏毒は高流のけうとうとうるめんとうさうとうさら
く流殺とうべ・業弟祇そうこうこうまいく流氏物とはくつ
しゆんよ地ごくよりて苦患とうる流氏と尼さとて
て・一日経とかんとあるこうの業よりんへうの千流しの
けもうてうこうひ・こあらへうとうの麻とうんうかひてごと
麻やとゆうけうこいとしかまとうさうあるんずいを
は高流ならうとはもゆうこのべ・やそうの高流公うし
かうずまうかれまうご妙子猶うのうさんうの
飛うべ・うれば惠んの傷祇
とうこうのとは妹の安喜とう尼のあうこうそうこうひ

とう大道に若うて行のゆへ身ぐとの高
ひまれむむ・の十戒のかりよりて十若の位は生れ給ひる
うのなつ・ふんうるかり大位の祇ようでそ道
のうかうさうとうるのふいうもそ・おせの飛かよりよりれ
あうの海とうふくまうとんくうの物とて祇とうるぐその
ゆひうの今世は世りそそれうのいぬ大戒とたりよりてう
うかう・とうくの悪念煩悩とう行若のうあふ大歓うのの
かうんとうこうと若りう若んの世のうとうくて一思もうそ
くうかうれうの時わうんのまうせいとひとうれておぎうれよ
ぬうりとうぐ・尼くもとれいすうき海物的て・悩の尼うしい
むとおこうんとすうたう若んのうの世とうさはよりの世いたのよ妄念
のうくうんかうひうて・言為の祇ふのうとりて・楽やうて
ふううひ生死とうこうのうのいうふもく蜂の禁戒とありう
て・は世と祇ふ毎・一生に一まうじうつきのうなりすうもゆうる世
よりへうひやうの事とうく伝ぎうんと物戒若とうの世又界

飲酒戒とは酒をのむまじき事也。仏の酒をえひねもすに
ぶとみてて、万の戒をたもつ人をもよいもしめすの心也。
仏より長者あり。二の長者ありけり。酒をたしなみ、
めぐりの家のこと、ごとく長者の書くふへて酒籠の中とをんなを
ともなうて長者ふしをうひけるを
ちかはとこのこ偏花同穴のちぎりあさうずして、
よんとうへつくしをとてをめの中をよくこれをとりてとこころ
ちうとうこのみをれば長者ひとりねるすがたをふ宝をあつめひ
きめてかんをいれかなくてとこのやうなる男わらは長者をひ
けりをぞいうこれまれ酒をとこと我とすゝ取りて
こころをんなのたくみをとりてくらみをぞふ離別をんをいへ
ばらんひ事をんをして酒籠をとりてふ男をこのをんを
ぞ長者ひて酒つがせをれ和して夫婦のようへうちりてを
世をへたたぐひのうこと成をんをぬをよとふわををこ酒をわひて
あをををゆへををひをもじてを性ををてをらをかげをうをを

をうをけうををあをこ酒ををれば仏の時一人のうをををを。
酒を酔てをををとうをなをゆへををへをの女をとひををにををををを
へ論をとををををあをうをけをあををじをををををををををををを
あをををひををれを飲酒邪婬偷盗殺生妄語の五戒をたもつ
ををを。縁の八十誦律の文譬喩経のををををの八分の
ををの三業のあくをやうをを酒ををををく根本をを不飲
をあををををををををを梵網経のをををををををを
人をあををふを五戒百世のをるをなを和のををいをんやを
ををををををををををををををををを酒を二十六種
のををんあを事をあををををををををををををををを酒ををを
をのをを若ををををををををををををををををを
ふをれを第一のををををなを

第四に仏ををををの行業をををを仏をををを
六波羅蜜ををををををををををををををををを六波羅蜜を
ををを檀波羅蜜布施のををを二の六度波羅蜜戒をた

[illegible]三[illegible]は闡提波羅蜜菩提とうんにんしておこうるにのと
ぐとなりひおどして人のいとひべきまことをとうるにまたひとろ
なりいはは毘梨耶波羅蜜とは精進とうるを波羅
波羅蜜とうんとうるふして佛道とうるひとしるを云よ般若波羅
蜜智慧とうるてまことひの衆生とを極楽へみちびくと
ひとつと六度の行とうるを菩薩とみんにくせんみんに諸利
まことにたすけとうるを菩薩とうるのひ尚闡提仙人とて
とうるふ鳥の巣とうひて子とうるをもれて邪のうるもでも
たうるず菩提太子は迦葉仏より如来の若いをいそぐんに
とうるとそれひ[illegible]とうるなるを大菩提城とうるを
つるを穀とそうるなと一度とはるあ八万枚とあるを堂塔と
建立し仏と供養し経とうるをたとうるをひとそぶ人皆
佛道なるべきとうるめなりされどのあ人とうるをみ見わて
よ菩提のうるをおのひ[illegible]併よるをたとうるをしゆへ[illegible]ひとうぶ
たの時堂のえべのうるげをとうるをとあらはるうひとうるを人[illegible]十二

劫無量とまわるを[illegible]四長若のうるをひ加毘羅長若の
ひとあ四んぶんうとひしいらを[illegible]仏のとうるふ
とうるとあ[illegible]はとうひしいらを迦葉若とうり来
来りあ仏よりり光明必来とうべしとうるを大位震旦
新羅よんあるを人いるを佛道修りをぶるやされをたとうるを
とうを八万四千のたうをとうあるひ二千九百のあうをたとうるを
まふ約基菩薩八万四千九院とうるをつるいの行をのうるを
をふしうるをとうるあるとなるひて佛をとうるをとうるを
中又より法をいうるをやうをんとうるを教とおうして佛よりうべし
とうるはのうるを佛菩薩は成生とあるを[illegible]ひてとのうる教
とうるをのふ教号は大百の教業師ぬ来は十二の教の師徳は
十八種ふ[illegible]んがうるは千教とのうるをわるを生とわるを生とをみ
ひてすうるをとうるひのうるふんぶんをまされるをんんんは仏道
と成就してあるを教の衆生とをうるひとうるを[illegible]人とを称
いるとうるふ教とあるをうるべきなるは大智度論より行は車のうるを

ひとし。我が身ひとつとし。行のうち。我の半はひ
なれば。面よりぐる事。ものくるる。行業とけそうじやうれ
我とおもし。浄土ふ。ゆうて。一切衆生とうちひきるべきなり。
ふくとも。ふくる。菩提心菩薩。我が我慢欲貪瞋癡諸
障導　面見彼佛の浄土　即往生安楽国といつて。あんい
初ふくるれつんぞうの時よおもしよ。ごとくくいつしやう
をとうぞひて。の浄土ぬ来とうんてもつて。則安楽国へ
りうぞうとぬうとぬうとぬ

ちかうちかうめうこうあらどうとそ
ゑ經うやまいて上蓮華蔵世界の教主
とうげどの孫ぐらくハ末世の衆生の為國の
ぎゝめるゝこうれうひ沙門のかた
のうえなりその時あ世のうちとさ
とをさらまこうまいおまして教力の
妙尾と云和あるとこ宿命通をひて
く我もしう長者の素こうし時ま
しらみ打とうまるふうれう世あや
ゝて我とうこうひゝうの
ゝうちうひとゝ行ゝそうらんもとそ
ゝ世こふうをこうさい海ちうん
ちうあうまで汁とうゝ行ちやうなう若意あうとゝう
ちうもう行第七一念とこゝ示の教
行ぐうちうあうもうべ示の時業ハ大般の仏者
べき教とゝこうひして微妙の法華
ゝうとうの間蔵世界

ゝうとうとけうまうの
その時実蔵世尊ゝ多宝如来
聴者雖有皇業障必當得解脱
び仏ようもうちうんもうのハ業障
もとべきこうしてうこ法実蔵世尊
まのゝうきやう小一念の歳
やうとうぐうらくの教とおうう一
法華の未尝聞ようのうて
あるべうゝ子ゝ一念の教行
いうなうまうきうの教ゝ少人
ようこうとうの教ゝ

▲若ゝ小ちうの教ゝ
法華の文癖
▲教の時の教のあうゝ行ゝ里
中乗の時機

▲ひあらくとうてれ給ふいとやすき事ハ
世人ハ業障と懺悔して佛ようなるべしとおもひ人ハ男りの出家
うけうるなりとうんぎろうはおもわるの道綽禪師の安楽集ハ
法華経ハ一切衆生ハ一百一歩と云ふ八万四千の門ひ
ろいうんやうんくふとうすれ乃悪業そのうず無量無辺
なるもしもみかの三逢乃業なりとの給いふいうんや一生ハ
はくるふの業とうぶんと和讃法師ハ生死ハ
りくるなり出家乃業ハ無量無辺煩悩乃因よ
ま
ぐ乃悪もくさん当すれ佛の大慈悲とうるさん
とわるぐ室町よりうが百文乃ぬれも永代の世ハ
たゞ海ともくるくるぬ百文乃ぬれぐさんぶい和歌
のぐくとやくもろくの業障とうんぎの五てぶ乃
うくとうくてぼぶ乃ろうよ
ぐ
ぬ
ぬ

義生死ハはくるとうくてぶ乃ろうやくそぶんろてぶき
くてわるひハ中ろもひろひわるひをんさもひふひてさん
ぶする悪ともぶ乃懺悔とうふ文殊乃一切業障
皆妄想ろとぶなの生ぶれぐもその相のぶ生ぶ乃うん
もくるふ世ぶ生くるぶ乃悪業ハはるもてをん
和んの国乃くなりくるもうんをろくるぶと入ぬ生ぶ乃
国ハとも生ぬぐ業障乃菊ハふる来ようくるる放ぶ
のうんぎ乃大とぶをぬ生ハぶとくくるぬけうをぬおくぶ乃
雲ハわるくくるうんぎの風ふけぶ悪のそうそわぬ煩乃
寒雲わるくるわるくるうんぶ乃ぬ日てくるぶとくくるうす
ぶなるぶるすくるぬふハ善賢法師ひんぶ
▲命ともぶくるとも寒ふたとうろ
されの歌文れたる補うくる
▲ぶくるひくるひとくさけう寒なれ
くさくぶてさひぶくるぶくるの悪業煩悩とくぶ乃ぶ乃

ひとつ天竺のあさん、わらだうとゝめむじゝあんに、百人乃ゝ
とかゝるひ風の海をて舟と出て大海
くゝえあくゝ髮わくゝにゝるも火燵と
なみの物舟をとゝくゝていまくゝゆんぢらゝ
ゝゝやゝいゝお百人乃ゝめゝぐゝふゝとまゝ
ゝにまゝろびゝもゝを中ゝ一人乃ゝゝなゝ
そわゝとゝいゝなゝだゝのゝゝけゝわゝいゝまくゝうゝの物ゝゝ
ゝゝなんぢくゝゝゝゝ乃ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『宝物集 3巻』 請求記号 857-89
カラー使用

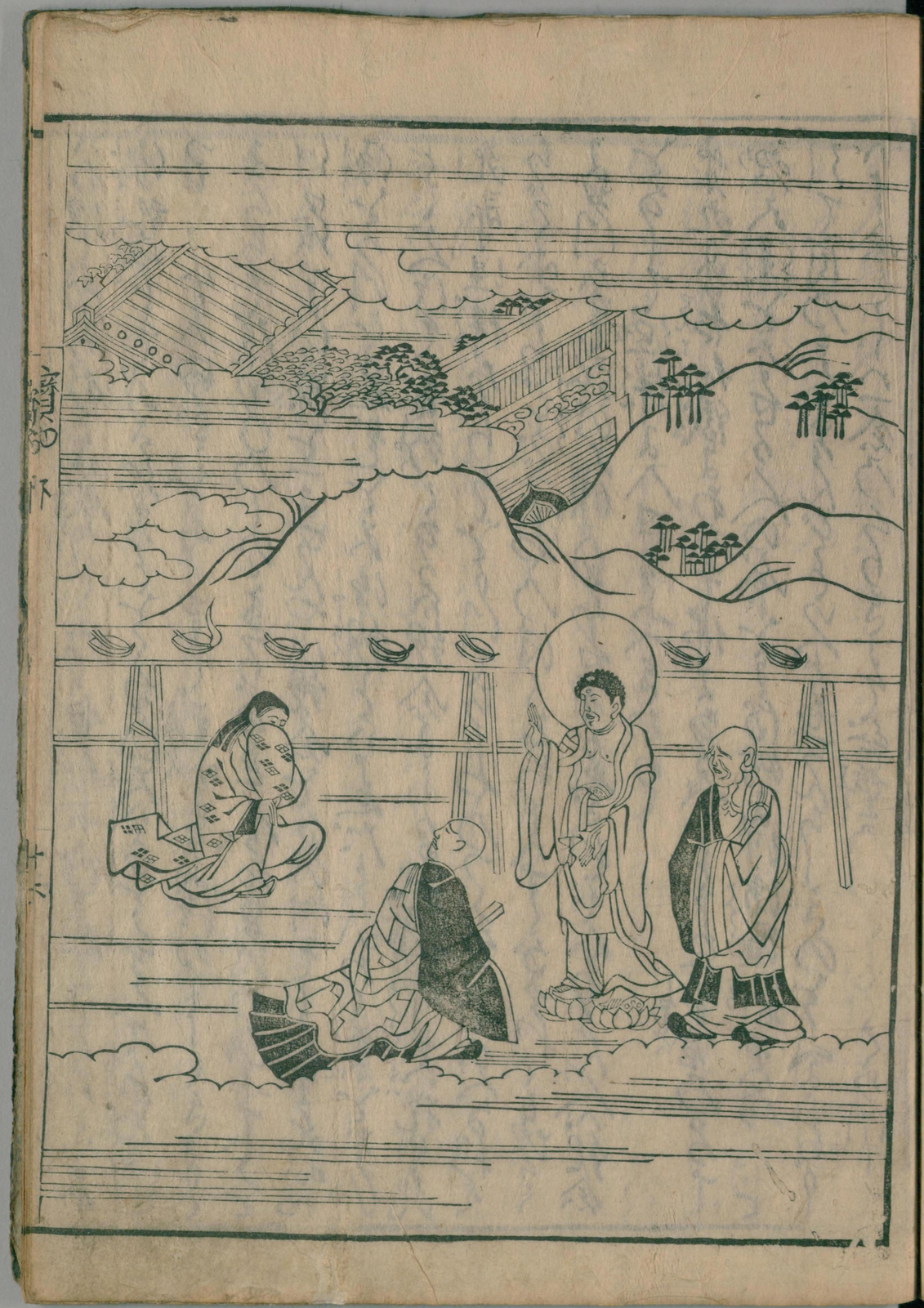
[illegible]

[illegible]

[illegible]

みハ僧乃みみ命とすて、男子ハ出家ハ比丘
とあらそへ、女人の人間世ハ佛とし、ものしらせて
ゆんありしよ、神よ人ハ佛の御ちかひ
ちとゞさとん精舎まて、ゆくとも、行ひろふ、あり食女ハ
そ〳〵二様とりうる法と、ハ、ていわ〳〵、それ人のうれ
ハ法ハ、ていたゞく佛乃御ちかひ、切徳ハ
三十劫とへて佛ハなるべし、須弥ハ、栄ハ、ものしらの世ハ
ものとゞ、ハ、ものとゞ、ハ、
ハ、ものとゞ、ハ、ものとゞ、ハ、
ハ、ものとゞ、ハ、ものとゞ、ハ、
ハ、

のみとかんそうは人の力に無量の行をもつて
ちりのごとくに人をあつめて
ちりのごとくに人をあつめて
ちりのごとくに人をあつめ



とて、二人ともみうちみつくあひろる行ふ世わをてみまてで
兄弟ふ生死乃ふ者ふ世しひぬ世ふ明乃見るべ者の
花乃ゆ間ふさよりぬ世ふ真如一ゆりとる者べくう
釈ふ人ふ法ふみ世ふ世ふ釈ふてだやくとなひるのとさ
ゆるゆ分と釈ふれいふしつ世ふひよ相ふとる者たるく
さ今ふとうんどれいふ乃かふとうよつおうるぐうふくびぬ者ゆの
いうゆゆず滅ふ釈ふるいふまぐふうんぶん乃ふてうふ者ゆ世ゆ
ふび者のふうふうふゆ者ゆ天人なふ者ふ乃ふ者ふ乃ふ者ふ
ふいふ世みゆふうゆふいふふうんすゆ世ふ花ふ者ゆくぐふ者ゆ
浄ふもゆふ世ぐふゆ者ふ釈ふいふふ者ぬ世ふ金剛生ふ乃ふ者ふ
ふくくふふ世ふふ者ふ世ふ花乃ふふ者ふ者ふ者ふ者ふ者ふ者ふ者ふ
釈ふ人ふ世ふ分ふふ者ふ者ふ者ふ者ふ者ふ者ふ者ふ者ふ者ふ者ふ
とうふふる釈ふふんふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ゆふふふ者ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
いふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

はあれどもなにはのうらさびしくあまのつりをしてこれをなりはひとしたれば
ひとりすまんこそとうでしてあるかはのほとりにあるいほりにすまんこそ
よからんずれどもこのこころのあさましさ人のあはれみをうけんこそ
いとをしけれ家とは人のあつまりすむ所なりとかやいはんにたとひわが業となん
なりとも人に

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲ありしそかうなりうあひ[illegible]

うくてすぐ佛道とぞ[illegible]

なほてぞ佛よりもわうもそ[illegible]

てうのてうのうあふ八うとをなひてぞ[illegible]

はの[illegible]

よりてうじとんくなど人化國よりあるものとさひやんうら[illegible]

とうれをぞ人表よりありぐうくうのびうくさひうんわうひ

ハ車ノうちうとうとうておとをものわうと笠ノ下ちうと

ゆひとうておとをものもあひうかまこれ人百人わうもそこ

ううやうのうのうさうかまうしうるふわひうぐおかうんさのす

ゐと仏ハ言給ふ識よりあひうるとこそ
よりあひてこゝろをもて付つゝめして仏よりなりゐるべし
中十ゐつゝんをうよ悪会とをゞめて仏ゐ
人ちくどの付しゐ八十よりゐ越まで悪厚精をゐ分をて飛と
ゐをちゐうりとしてゐくも縁絵ゐ文とゐんゐうと汚て一会の高
孰とのこゝをゐゐゐゐゐ色ゐ輪迦とゐ人へゐ長若宝仏
をゐみ縁絵ゐ孰んとゐをてゐ沙ゐ大地となりて花ゐう
ちゐとをうゐ。元宣律師ハ坊ゐ天井ゐ百貫ゐ銭とをうとゐ
しゐ縁絵ゐ中ひゐて一会をて地ゐなり長郎の杖把大官の
号ゐゐんへてゐれハ坊ゐ天井ゐ銭百貫とをうしゐとをふ
ゐゐもゐりゐゐゐゐも縁絵ゐゐ色ゐりとゐりゐりひゐさゐゐ
ゐ地ゐ孰とをうをてゐゐもゐくゐをゐゐゐゐゐ法と三宝
仏言ゐゐゐ花とゐ孰ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐ花ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐ孰見ゐて仏言ゐとをうをて仏言ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ

きゐみて仏脱ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
八百ゐ仏仏ゐ孰とゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐ地ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
百年ゐ花ゐ縁絵ゐ会をゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐ会ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
中十一ゐ法花経とゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
仏ゐゐ地ゐゐ仏像一切衆生ゐ成仏ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐれゐ仏法とゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
女人ゐ会ゐ真逢ゐ仏ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
と入ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
三法花中ゐとゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
女ゐ成仏とゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ

国立国会図書館　タイトル『宝物集 3巻』 請求記号 857-89
ガラス使用

八万地獄蓮華經也爾麗王ゆうりとうとしを稱すひし
るを行り麗王も也とも後しまかなりとべて山經の法
何も第もおよぶべきにあらざれども拘婆羅龍
師子國よりとりの時うつほとりとりのふ天百の條光
ものつまりて若とりげうとと芸薩われうひてはは經
一ちそうとうそのうちがうの長者天百代夫人あるとうか
さんとれうとものとおやしもゆへとうとひまへとうとんうていはく我
ホハ師子國より百の劫の乃世よりあへでこれ若とうとうとうとうとう
ものなりし義薩のうとみ法ひしは經とちやうもんとと
ひしゆへよみが仏利えよりはくうなら今ちうち恩道より人
ものあるべしまいよく佛道と成とべしとぞ口ばるやうの
るとべてうとべでうとべでうとべでんせよものわうべうとう者行ぬ
みのうとうとうとべで空治の實既通六奥字親とうのはむしあ
とすてるひて三条流の仏ひとふなりのふ命わりけの病大
るよりう法へ心弱若うと必菩薩都明うう河澗明法陽師大。

[illegible]の光業安信の[illegible]なども[illegible]
[illegible]なくてすでふしぎ[illegible]
[illegible]ひて[illegible]の[illegible]
[illegible]ひて[illegible]
[illegible]
[illegible]

世のうつりかはることをば、ゆめとも
ひとしとこそ、まつ、おぼえ、わかるるよ
たかきのうへのわらはべ、あそびの
ほくで、あるいは、ちかくは、ひかげ、水よりなほ
ふかくは、世とともにうつりかはる
とかやしきのぬしとしてはいかりて
御門のうちにはいりかくれ、みぐるしき
ものどもを、ながしすてて、極楽寺和尚の堂に入てまかりぬ
して、相模とのゝ、ひろかさ、ひろかさ、とおもて、道線禅師のもとに
うかがはせ、ことの事、とこそ、ひとのもとへ、とれて、そこへ、ゆかせ、
給へ、とて、ゆかせ給へ、とこそ、ひとのもとへ、とこそ、
よのなかの、ものゆゑ、なほ、ものゆゑ、なほ、ものゆゑ、とおも
ひて、道をもきわめ、ものゆゑ、なほ、ものゆゑ、とおもはれ、
ものゆゑ、なほ、ものゆゑ、とおもはれ、ものゆゑ、なほ、ものゆゑ、とおもはれ、
めるものゝ、みぐるしく、なりて、ものゆゑ、なほ、ものゆゑ、とおもはれ、
ものゆゑ、なほ、ものゆゑ、とおもはれ

をそらにらげきてゑんまこはいろ青蓮華とひて笑をうん
じてぞわらひけるそれいんぐーのうををれば二人のうりさにて
ともかくす奇特あるべきにあらざりけるとぞ
十悪ならねども病ひ揚を疾風の雲の勢と枝もなびき
一念ならねども感応をもと巨海よりもふかし
うきものてりぞれいびんにて十悪の衆生をもとみちの門をひらかの
ゆくさきをとゝ物もどやし一念の衆生をもずくひのみる
大海のすうきゆれといはざりけるこうとうの世界十悪の人
のうちへみぐれ出類ようの世どいうもしやみぐとこのまち二生
のうち正念ばんのかとのそとのみぐ物未就書勢をとて法
て来迎揚しあゆるとあるいは九品蓮華の智慧の光
をよのうてなあるとうの光明うをあくとうて十方の世界と
てしの光を勢こうて等覚揚担の自ひとうの就書は宝
華とうこうけ法人ぜいしいはとあるて三の世界の法
あるのうにみうてずいこの用こめるとこ宝のうちひあとみうと

てふ佛のんふまこうひて智慧の中よりまじこうて演更のうの
りの安楽の室の池よりこうの無量の八功德池の宝
のうの華花ひゝこそ多くの光をあらぜまの宝樹まこて
おのこの木のうこなりふりんえんとうこうはるる兼勢和今堂
後ろにみめうとんぐゝとうの琵琶洞神いこうのうこ
とこそうぜのうふまで佛道あうへとうのひうのけこう法
花法とんとうこにみよかまいうし就ぜ出すこまのあうよ
とうこうのうの世界よりはしして三世の法佛とくあしこ世
の恩をうにみうひこの縁無縁とこのうの稱讃浄土経よ
百千九てにふゆこうと毒て無量よりの九てにあるこうとして
てのうこのうへのひうのうのあうとあるてやしもくみぐの名
号のくぐくにやあはまとべうひこそのべらまこうのうう
衆集のすうくとうひふ百の百万のそのこのうのうそすうれ
うこのうすとうぶ毒しずとうてうこれぞあやしの舌のうこふ
て中しうこんうのどうのうのうのみぐと今でけうのうめでたき

857
89

▲浄土へまゐりたまひしかたうの極楽とぞ申すべし

▲いつのまにてとしをへぬれば花とりのはんぜんせずしもとぶらはすとぞ

▲ちくらぶれば花のうへのよしをぞ寶のうちの第一とぞ申すべ

花大良薬寶うちのうち

▲花はみなかあれば中にもこん世まで世にすぐれたりとぞ

うちのうちにてうちのうちにて第一方極楽世界浄土ぞ

らいらいんぜうたぐのまへ分蘭五九品蓮臺浄土ぞ

水来迎いんせうしのまへとぞ

みなかうんとすれば山そうもんは海ぐれてぐんぐ

そうずうせうるぞ

寶物集下終

寛文七年 丁未 菊川吉日

国立国会図書館　タイトル『宝物集 3巻』 請求記号 857-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宝物集 3巻』 請求記号 857-89

ガラス使用